

当院では、倫理委員会の承認得て、下記の臨床研究を実施しています。研究は対象となる患者様から個別に同意を得て行う研究ではなく、国が定めた指針に基づき、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行われる研究になります。研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名：自然排卵周期における凍結融解胚移植での黄体期管理の違いによる流産率の評価

研究責任者：宗修平

研究目的と意義：凍結融解胚移植における黄体期管理は妊娠を維持するために重要である。しかしながら、子宮内膜調整方法の違いによる最適な黄体期管理(LPS)についての検討は少ない。そこで本検討では自然排卵周期における2種のLPSの効果とその影響についての検討

研究方法：自然排卵周期における黄体ホルモン補充方法の違いと流産率の関係を後方視的に検討

対象となる患者様：2015年3月から2018年10月の間に俵IVFクリニックにおいて流産既往がなく凍結融解単一良好胚盤胞移植を実施し、黄体期管理(LPS)においてデュファストン®(OD)もしくはプロゲステロン膣座薬(VP)を用いた黄体期管理を実施した1462症例

発表学会(日時)：第37回日本受精着床学会総会・学術講演会 平成31年8月1日(木曜日)～2日(金曜日)

個人情報の取り扱い：本研究に使用するデータにはお名前、住所など個人を特定できる情報は一切含んでおりません。また、研究成果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究の対象となる患者様は参加への拒否を申し出ることができます。2019年7月1日までに下記へお問い合わせください。この期日以降は利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能となります。

問い合わせ先：

【住所】 静岡市駿河区泉町2-20

【担当者】 福田純子

【電話番号】 054-288-2882

【FAX】 054-288-2883

【メール】 tawara-ivf@i.softbank.jp